

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	22116
課題名	心不全患者に対する定期的な療養指導の効果
研究期間	西暦 年 月 日 (実施許可日) ～ 2024年 3月 31日
研究の対象	心不全と診断され入院治療を受け、退院後外来で、2020年12月～2023年1月までの間に高血圧循環器病予防療養指導士の面談を複数回受けた患者さん。
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報 (詳細：病歴、治療歴、患者の心不全や療養に関わる言動、看護師の指導内容、血液データ、血圧、脈拍数、体重、酸素飽和度等、家族背景、職業、社会的背景)</p> <p><input type="checkbox"/>手術、検査等で採取した組織 (対象臓器等名：)</p> <p><input type="checkbox"/>血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他 ()</p>
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	心不全患者さんと高血圧循環器病予防療養指導士との面談や記録を通して、退院後の心不全患者への定期的な療養指導の効果を明らかにし、再入院を予防するための看護支援をより明確化することです。看護支援が明確化することで、心不全患者さんの治療アドヒアランスの向上、心不全増悪による再入院の予防、心不全患者さんの生活の質、さらには生命予後の改善に寄与すると考えます。
研究の方法	心不全患者さんと高血圧循環器病予防療養指導士の面談記録を電子カルテから抽出します。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：旭川医科大学病院 0166-69-3690 看護部 看護師 鈴木晴花</p> <p>研究責任者：旭川医科大学病院 看護部 鈴木晴花</p>